

# 歴史暮らしに溶け込む

倉橋さん 奈良の魅力語る

華師寺月例

## まほろば塾

日本人の美しい心や豊かな文化を広く伝える「月例

奈良まほろば塾」（読売新聞社後援）が16日、奈良市

の薬師寺で開かれた。俳人でフリー編集者の倉橋みどりさん(56)が「奈良の魅力

と底力」と題して講演。編集者として奈良で取材を続ける中で感じたことなどを語り、参加した約80人が耳を傾けた。

1994年に結婚を機に大阪から奈良に移住したという倉橋さんは、県民が「聖武さん」「行基さん」などと歴史上の人物を親しみを込めて呼んでいることに驚いたとし、「一人の人間として大事にする姿勢を感じた」と話した。

多くの文化財や伝統行事が残る奈良では、歴史が暮らしの中に溶け込んでいるとし、「奈良にいると、自分も歴史の中の一コマだと感じ、自信につながる。それが奈良の魅力や底力だと思う」と力を込めた。



奈良の魅力や底力について語る倉橋さん（奈良市で）

講演は、11月中旬にまほろば塾ホームページで配信される（有料、まほろば塾推進の会会員は無料）。次回は11月18日に、能楽師の観世喜正師による能「大般若」が披露される。